

青森中央経理専門学校 青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会 報告書

学校法人青森田中学園
青森中央経理専門学校
青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人青森田中学園 青森中央経理専門学校並びに青森中央文化専門学校は
令和5年度第2回学校関係者評価委員会を開催いたしましたので報告致します。

●開催日

令和6年 3月 6日（水） 14：00～15：10

●開催場所

本学園9号館（学術交流会館）3階 934教室

●企業等委員

栗原 良明 氏 （ライフプランニングフォース 代表）
樽澤 康太 氏 （株式会社ティエル・マネジメント／青森中央経理専門学校卒業生）
今 順司 氏 （青森県アパレル工業会・株式会社蓬田紳装 取締役工場長）
泉谷 里奈 氏 （株式会社アプティマルワ／青森中央文化専門学校卒業生）

●学校側

石田 憲久 （学校法人青森田中学園 理事長、
青森中央経理専門学校 校長、青森中央文化専門学校 校長）
櫻庭 肇 （学校法人青森田中学園 事務局長）
鈴木 伸吾 （青森中央経理専門学校 主任教諭）
曾我 武 （青森中央文化専門学校 主任教諭）
塚本 大広 （青森中央経理専門学校 教諭）
佐藤 紋子 （青森中央経理専門学校 教諭）
大水 咲良 （青森中央文化専門学校 教諭）
竹洞 春佳 （青森中央文化専門学校 教諭）

●次第

1. 開会あいさつ

学校法人青森田中学園理事長

青森中央経理専門学校校長

青森中央文化専門学校校長 石田 憲久

2. 出席者（委員）紹介

→資料に基づき、出席者を紹介

3. 規定・位置づけ

→資料に基づき、規定・位置づけを確認

4. 令和5年度重点目標の状況報告

→委員の皆様から資料に基づき、質問・意見等を頂く

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
DX化・IT化は具体的に何をやられているのか詳しく教えて欲しい。	まだまだ発展途上であるが、ペーパーレス化・法人では機関システムの見直し等も行っている。学生へのお知らせは Microsoft Teams を使用し、コスト削減を図っている。
両校の就職希望地域の県内外の割合を教えてください。	青森中央経理専門学校は地元志向が多い。地元就職するため、地元の専門学校に入ったというケースが殆どである。青森中央文化専門学校は、本社が東京にある企業が多いので、県外就職が多い。進学の際上京を諦めた入学生も見受けられ、就職で都内を目指すケースも多い。
コロナ禍を経て卒業した学生は、共通して会話・挨拶ができていないのが気になっている。どうすれば改善するのか、また、先生方から指導してもらえるものなのか。	青森中央経理専門学校の学生の場合は、最近ではスマートフォンを見ている時間が長く、対話の時間が短いと感じる。普段の生活の中でも、挨拶ができない学生もいる。ホームルーム等で基本的な挨拶が大事であることを指導していきたい。 青森中央文化専門学校の学生も、コミュニケーション不足に拍車がかかっていると感じている。コロナ禍で、会話をしなくても物事を進めていけると当たり前に考えている面がある。実習などで外部の方とコミュニケーションを取り、育成に繋げていきたい。

両校で、ロールプレイや双方向の時間について、実践していることなどがあれば教えてください。	両校共に、キャリアデザインの授業内で、面接官役と受験者役で模擬面接のロープレを行っている。その中でできない・やらない学生がいても強制的にやらせることはできないので、グループ別に差が出てきてしまう。全学生が活発に行動してほしいが、難しい部分がある。 青森中央文化専門学校では、まず話すことが大事であると考え、授業の中でも双方向の授業形式を実践している。また、毎年開催しているファッションショーは基本的に学生主体の構成となっているので、学生同士のディスカッションなどを実践している。 教職員から率先して声掛けをし、アルバイトやインターンシップ等で社会を疑似体験してから社会に出ていけるように改善していきたい。
---	---

5. 令和5年度第1回学校関係者評価委員会からの課題等に対する取り組み状況報告
→委員の皆様から資料に基づき、質問・意見等を頂く

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
弊社社長が外部講師を行った講座の学生の反応を教えて欲しい。	静かに聞き、挙手制の呼びかけには反応があるが、質疑応答での発言が足りないと感じた。
インスタグラムでリール動画を投稿してほしい。	主にファッション販売専攻の学生がインスタグラム・TikTokの投稿に取り組んでおり、ファッションショーの宣伝等でも動画の反応が良かったので、今後はリール動画も告知のたびに投稿していきたい。
高校生が進路を考える際、周りの意見が大きく影響すると聞いた。高校訪問は何度も通い、周囲の認知度も高めていくと良い。	高校からの出前講座の依頼や説明会が復活してきているので、うまく活用していきたい。最近オープンキャンパスに保護者が同伴するケースが多く、保護者の方にも理解を深めてもらえていると感じる。
最近は青森の観光についてのメディア露出やSNSでの投稿が多く、話題になっている印象。ワラッセも平日にも関わらず人が溢れていた。観光を学んだ学生がより活躍しやすい環境になっていくように感じているが、これからどう取り組んでいくのか。	昨年の卒業生から、業界に内定をいただいている。資格取得を軸に、コミュニケーション能力・接客技術を得るため、実習時間数を増やしたいと考えている。引き続き100%業界就職を目指していきたい。
これからは語学がより必要になってくると感じる。カリキュラムには入っているのか。	一部英語の授業がある。授業で学んだことを実習で発揮する流れを汲んでいるが、場数を踏むことが大事だと思うので、回数を増やしていきたい。

6. 来年度の委員（案）

→資料に基づき、来年度の委員（案）について説明

7. 来年度の日程（案）

→資料に基づき、来年度の日程（案）について説明

8. 閉会挨拶

学校法人青森田中学園事務局長

櫻庭 肇

以上をもって、終了した。